

東北地方における地域脱炭素支援に関する会合（第1回） 議事概要

日時：令和3年12月7日（火） 15:00~17:15

場所：TKP ガーデンシティ仙台 30階ホール 30A

（ZOOMを用いたテレビ会議を併用）

議事概要

1 開会

2 会合及びワーキンググループの設置について

事務局より、資料2「東北地方における地域脱炭素支援に関する会合運営要領（案）」について説明が行われ、案のとおり承認された。

3 地域脱炭素ロードマップについて

事務局より、資料3「地域の脱炭素に向けた取組について」説明が行われた。

4 各省庁における取り組みの内容について

資料4等をもとに、各地方支分部局の施策・予算等について説明が行われた。

<構成員>

- 農政局：「みどりの食料システム戦略」等の説明。
- 東北森林管理局：2050年カーボンニュートラルへの森林・木材分野の貢献、建築物木材利用促進協定制度等の説明。
- 関東森林管理局：福島は関東森林管理局所管であり、福島については関東が連携して脱炭素に取り組む。
- 東北経済産業局：「第6次エネルギー基本計画」、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」等の説明。
- 東北地方整備局：「国土交通グリーンチャレンジ」の説明。
- 東北運輸局：「国土交通グリーンチャレンジ」の説明。運輸産業は私たちの暮らしを支える大事な産業地域脱炭素には、地域公共交通の単なる変更だけではなく、エッセンシャルワーカーであり、そのサービスの継続や脱炭素への取り組みにあたり、ポストコロナを見据えた対応の検討が必要。
- 東北総合通信局：脱炭素の取り組みを支える通信インフラの状況説明。
- 東北財務局：「サステナブルファイナンス」、金融機関における「ESG金融」の推進等に関する説明。

<オブザーバー>

- 岩手復興局：脱炭素の取組は、地方創生や被災地の産業・生業の復興・再生にも資するものとして県内では期待が大きい。
- 宮城復興局：沿岸部などの復興まちづくりや防災集団移転元地の利活用において、脱炭素の事業や施策が展開する可能性を推測・期待している。
- 福島復興局：福島の復興は現在進行形。県内市町村では脱炭素の取組み（チャレンジ）に積極的なところが少なくない。引き続きの支援をお願いする。
- 福島地方環境事務所：2018年8月に福島再生未来志向プロジェクトチーム発足。2020年8月には、福島県・環境省で連携協定を締結しており、福島での「脱炭素社会」の実現と「復興まちづくり」の両方の着実な実現を目指すことをひとつの柱としている。
- 内閣府地方創生推進事務局：地方創生に向けたデジタルの推進、地方創生人材支援制度（グリーン専門人材）の創設について説明。

5 今後の予定

事務局より、資料3「地域の脱炭素に向けた取組について」説明が行われ、案のとおり承認された。

6 閉会